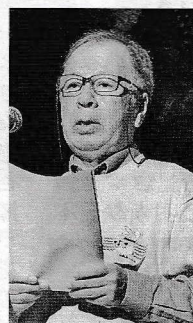


平和な世界で生きてゆくために

2025祭典in
神戸・ひょうこ
特集2

「和太鼓と民舞の万響
祭から3日間、毎日3」



4時間の音楽会に身が
持つかと思っていまし
たが実際にはすぐに不
安は解消され、乗せられ
て、僕としては10年分の
音楽に触れた感じです。

うたごえ運動の精神確認

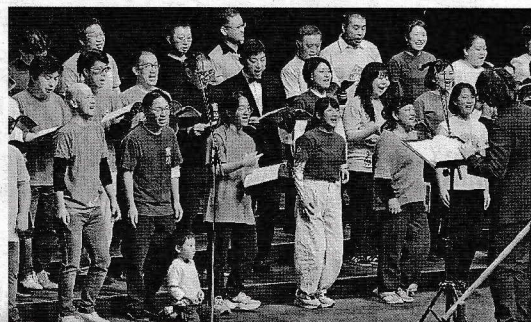
石川康宏祭典実行委員長



専記念ソング最優秀曲「生きてゆくために」(指揮:作曲の石川伸二)

感動した曲もたくさん
ありました。特に楽しか
ったりホロツときたりで
印象に残ったのは、桂雀
三郎 with まんぷくブ
ラザーズの居酒屋を歌っ
た『一人のやぐら』と震
災の後に再開した焼き肉
店を応援した『カルネの

一周年』でした。
3日間観て聴いて
なるほどなあとと思っ
たのは、幼い子から
おじいちゃんおばあ
ちゃんまで年代・性
別を超えてみんなだ
つくられているとい
うこと、じつとして
いられなくて地べた
に座り込んだ小さな
子をおかあさんがだ
っこし、それをみん
ながあたたく見守つて
いる光景はなかなかの
のだなと思いました。



▲うたごえは、年代・性別を超えて

「うたごえ」はもつ
と社会運動とリンクして
ほしいと思い、大音楽会

での実行委員長あいさつ
では、うたごえ運動の歴
史に貫かれている『平和
とともに』の精神を念押
しするつもりで、戦争と
平和をめぐる現代の情勢
にも少しばかり目に触
れてみました。

特に3日目の大音楽会
では、戦争のない世界、
人の尊厳が守られる社会
をどう作っていくかとい
う問題意識が曲によく現
われていて、うたごえ運
動の精神を確認できた気
がして嬉しかったです。

ポリシーを明確にした祭典

池辺晋一郎(鎮魂組曲、『新世界』指揮)

「毎年の祭典、全日程
でなくてもこの間ずっと
関わってきたけれど、今
回は自作のオペラ公演と
重なって、無理かと思ひ
ました。が、大音楽会当
日、早起きして金沢から
は最近の祭典のなかで一

果としてポリシーを鋭角
にしてモチベーションが
はつきりした、そうでき
るのはとても大事なこ
と。この力を未来につな
げていくように、ぜひが
んばっていただきたい。
(鎮魂組曲、竹下景子
さんの朗読も交えての演
出は)「とても新鮮で良
にしています」。

かった。阪田みゆきさん
のピアノも良かった。
(来年の祭典にひきつ
ぐ『新世界』に)「山ノ
木竹志君の詞が未来志向
で、今回も最後にこれを
持つてきて、これもテー
マが貫徹したと思いま
す。来年の演奏も楽しみ
にしています」。